

子供たちの夢をかなえる教師への道

東京教師養成塾通信

【第21期 第7号】

発行日 令和6年8月8日

発行元 東京都教職員研修センター 研修部教育開発課

電話 03-5802-0318



第22期募集案内



塾通信バックナンバー

本講座は、教科等指導力養成講座（第10回）の最終回です。これまでの学びの集大成として模擬授業を行いました。協議会でも活発に意見を交わし、それぞれが今後の自身の課題を明確にしました。

教科等指導力養成講座（第10回）

実施日 令和6年7月21日（日）

【両コース共通】

- 模擬授業
- 教職教養
- 塾生に期待すること

【特別支援学校コース】

- 自立と社会参加



教材を自作して臨んだ模擬授業の様子



自立と社会参加の様子

キャリアパスポート作成上の留意点

特別支援学校コースは「自立と社会参加」について学びました。特に「キャリアパスポート」について、自らの学習状況や日常生活等を振り返る教材として、どのような項目が適切か検討しました。

「自分の強み」を生かす

両コース共通で、「教職教養」について学びました。その後、教職員研修センター研修部教育開発課長からの「塾生に期待すること」をテーマとした講義の中で「強みを生かした教師になってほしい」との激励を受けました。



教職教養の様子



講義後に協議を行う様子

【塾生の声】

- ・ 変化に対応するために、常に学び続ける教師でありたいと思った。
- ・ 特に「出る杭になれ」という、課長の言葉が心に残った。プロフェッショナルとして4月から働くために、礼儀を大切にしながら、自分の強みを伸ばしていきたい。今日の激励を受けて、これからよりいっそう意欲が高まった。
- ・ 「自分の強み」を生かすことについて御講義いただいた。自分の強みは何か、自分にしか出来ないことは何かを考えることの大切さを学んだ。自分の強みを見付けて伸ばしていきたい。

教材研究の大切さを実感した

両コース共通で「模擬授業」を実施し、学びを深めました。発問や教材の工夫など、授業者の視点に加え、授業を参観する際の視点を明確にして臨みました。それぞれの今後の課題が明確になり、4月に向けて良い見通しをもつことができました。

【塾生の声】

- ・ 教材研究の大切さを実感した。本時の目標を達成させるために必要な活動や発問は何かを班員で考えることができた。
- ・ 話し合っただけで良いと考えていても実際にやってみると考えを上手く引き出せないなど、事前にしておくべきことが明らかになった。
- ・ 「分かる授業づくり」をテーマに授業づくりを行い、協議を行ったことにより様々な新しい手だてを知ることができた。



国語・算数の模擬授業の様子



養成塾教授からの指導講評



道徳の模擬授業の様子



道徳の模擬授業の様子

- ・ 授業を参観する際には、指示の工夫や板書の工夫、児童の発言を多く取り入れることなど、様々な視点をもって参観することが大切であると学んだ。
- ・ 本日の模擬授業、班別協議を通して、1年間の塾生相互の課題を確認することができた。どの塾生も児童が活躍する授業を考え、導入、展開、まとめ、振り返りに試行錯誤していることが分かった。私もまだまだ課題があるが、学んだこと、塾生同士共に学び合いながら残りの充実期での実習に取り組んでいきたい。
- ・ どの教科においても学習指導要領を読み込み、理解することが教材研究で重要なことであると学んだ。児童の実態をふまえ、教材や授業をつくるのが、深い学びの実現につながると学んだ。

養成塾に入塾できてよかった

- ・ 全10回の講座を通して、教師に必要な資質・能力や自覚をもつことの大切さを感じた。各教科の指導を行うこと、児童理解を深めることやいじめ・不登校の対策を行うことなど、特別教育実習と重ね合わせながら実感を持って学ぶことができ、養成塾に入塾できて良かったと実感した。
- ・ 高校3年生のときに小学校の先生になるなら東京教師養成塾に入りたいと直感的に思って大学3年生のときに入塾した。正直辛いと思ったことも悔しくて涙を流したこともあるけれど、それ以上に得たものが多くあり、本当に貴重な経験をさせていただけたことに感謝している。
- ・ 班別協議で、悩みは、私のみではなく、他の塾生も持っているのだと知ることができた。残りの充実期もこれまで学んだことを活かして、指定校での授業にも還元していきたい。
- ・ 教科等指導力養成講座を通して、授業づくりの基本や各教科について学び、特別教育実習で実践することで自分自身成長できたと感じている。ありがとうございました。



算数の模擬授業の様子



道徳の模擬授業の様子



国語の模擬授業の様子